

働くことの大切さ 中学生職場体験

市立古賀中学校 062-50090

9月下旬の5日間、市内の中学2年生531人が福津市、宗像市、古賀市の122カ所の事業所の協力により、さまざまな職場で社会人、職業人としての貴重な体験をすることができました。

職場体験学習は、働くことの意義やすばらしさを知り、社会人としての基本的なマナーを学んだり、人と人とのつながりについての理解を深めたりすることを目的に、毎年実施しています。生徒たちは、この体験を通じて、仕事の大変さだけでなく、働くことの喜びや、お客さんへ感謝する心などを学び、自分の将来に向けて考える機会になりました。

「感動した」「子どもたちが将来の夢に向かって進み、地域社会の発展にもつながるとうれい」などといった感想をもらい、中学生が一生懸命に働いた姿がうかがえました。家庭でも体験談を聞き、将来や進路について話をする機会になったのではないのでしょうか。この体験が、生徒たちにとって勤労観や職業観を広げ、地域の絆を感じ、将来の地域の担い手として、社会人として活躍するきっかけになることを期待しています。

職場体験学習を終えて…

生徒の感想を一部抜粋して紹介します。

お客様の希望に合わせたすの設置や、質問されたときの受け答えの仕方が大切だと感じました。いつも行っているお店の対応は、お店の人がきちんとくださっているからだと実感しました。

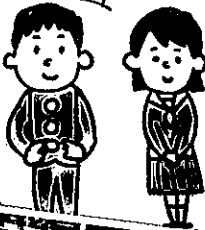
幼稚園ではけがをさせないような工夫などがあり、園児の安全を第一に考えられていました。言葉づかいや衛生面、責任感、使命感など、先生がたのすごさを感じ、職場体験以前よりもずっと子どもが好きになりました。

自分が出した商品が次の日に売れていると、とても良い気持ちになりました。仕事で成功したときの気持ちの良さを感じると、人はとても元気になるし、相手も笑顔になれるのかなと考えました。

「落ち着いて、丁寧に、はやく」ということが身に付きました。また、常に笑顔でいることで1日が楽しく思えました。将来自分の店を持った時に「お客様を一番に考える」ことを忘れずにいたいと思います。

親への感謝の気持ちはたくさんありますが、この学習をふり返って、私のために自分の時間も削って働いてくれたこと、そして仕事は楽しいことばかりではなく、つらさもあることが分かりました。

看護師やケアワーカーは患者さんのことを一番に考えていて、すてきだと思いました。これからは自分よりも相手のことを考え、思いやりや優しさを忘れずに、笑顔でいろいろなことに挑戦していきたいと思えます。



「協力いただいた事業所の皆さん、ありがとうございました」